

# ひまわり学級 自立活動学習活動案

日 時：平成17年5月17日（火） 10：35～11：20
場 所：ひまわり学級教室（2階中央）
指導者： 近 藤 勝 彦
対象児童：4学年 特学通学年数4年 自閉症

## 1 題材名

### 買い物に行こう！

## 2 題材について

学級懇談の時、母親の切なる願いを聞いてみた。「あまり多くのことは期待していません。ともかく自分のことが自分でできるようになってほしいと思っています。」という言葉が返ってきた。私も同感であった。

将来、彼も大きな社会の中で生活していかなければならない。社会の一員として、義務と責任を果たしていかなければならない。そう考えると、彼に「社会的自立の基礎」を今、つけていかなければならない。母親が願うように、「自分のことが自分でできること」ということは、社会の人々とかかわりながら生活していくことを意味する。彼の実態からすると、まずつきたい「社会的自立の基礎」は、コミュニケーション能力だと考えている。まわりの人々と言葉やジェスチャーや絵などを使って、自分の意志を伝え、まわりの人々の意志を理解していくことである。

彼との生活で気づいたことの中に、興味・関心をもたないことに対しては学習活動が成立しないということがある。誰しもそうであるが、彼の場合このことが顕著である。従って、本時では、大好きなおにぎりの具である「さざなみ」を農協に買いに行くための準備を行う。この活動には、①バスの運転手さんとのコミュニケーション ②時刻の概念 ③お金の概念 ④自分の氏名を書く必然性 があると考えている。

①では、「お願いします。」「ありがとうございます。」という言葉を使わせたい。

②では、時計を観てバスのおおよその発車時刻を自分でわかるようにしたい。

③では、バスの料金、「さざなみ」の値段をつかませたい。

④では、きちっと買い物ができたということで、氏名入りのパネルとともに、母親と記念写真をとる。このことが学びの喜びにつながる。

という喜びを実感させたい。そのために、本時では、この4つの活動をシミュレーションする学習活動を仕組みたいと考えている。

「できない。」ことが「できるようになった。」この積み重ねが彼の自信となり、「社会的自立」につながると信じて止まない。喜びを言葉ではまだ表現できない状態にある。しかし、心の中の喜びを感じ取れる教師でありたい。

### 3 研究とのかかわりについて

【研究内容1】

#### ①教師の指導・援助の工夫

##### 視覚に訴える資料提示

具体物による資料提示が鉄則であると考えている。バス、運賃箱、「さざなみ」、お金など、本物や写真を使っていきたい。また、マッチングで行っているように、絵と値段、写真と時刻など、合わせるという活動と、金額を選ぶという活動を仕組んでいきたい。

【研究内容2】

#### ①学習活動過程の工夫

##### 繰り返しの徹底

彼の学習意欲と大きく関連するが、何度も繰り返していくことを大切にしたい。きっと、途中で彼は不機嫌になるであろうが、何度も繰り返し、自分で体得したことを大いにほめていきたい。また、このことが学習意欲の喚起になる。

【研究内容3】

#### ①学習集団の育成

##### 役割演技の位置づけ

普通学級と同じように学習集団を育成していくのが理想であるが、実態にそぐわない。そのため、バスの運転手さんや農協の人などとのコミュニケーションを「かかわる力（社会性）」として大切にしたい。バスの運転手さんや農協の人などを他の教員に演じてもらい、学習環境を整えていきたい。

### 4 児童の実態

【家庭での様子】

- ・学校から帰って、外で遊ぶということはない。パソコンなどをして過ごす。
- ・カップラーメンが好物で帰宅後、すぐに食べる。その際、タイマーで3分を測ることができている。
- ・帰宅後、ラーメンを食べることを合わせ、3回ほど食事をとる。煮物・汁物が好物。
- ・自分から入浴に家族を誘うことができる。
- ・父親と一緒に寝る。夜に起きて父親がいないと安定せず、ずっと起きていることがある。
- ・休日は、どこかに行くことをせがむ。自動車に乗ることが好きである。

【学校での様子】

- ・カバン、帽子しまい、金魚のえさやり、花への水やりなど、登校後に行うことが定着しつつある。しかし、時として多くの職員が迎えに出ると教室に入れないことがある。
- ・休み時間など、パソコン、トランポリン、テレビ、トーマスの歌を聞く、などしている。そうすることで安定している。
- ・自分の意志が通らないと、つねったり、自傷行為にはしることがある。
- ・口の形を真似して、自分から言葉を出そうとしている。

## 6 本時のねらい

お店で必要なものを買うために、バスの乗り方や買い物の仕方を練習し、できるようにする。

## 7 本時の展開

児童の学習活動	評価の窓、及び指導・援助
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>農協までの行き方、買い物の仕方を知ろう。</p> </div> <p>○バスに乗る時刻がわかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・13時21分に乗るんだな。だから、短い針が1で長い針が12になったら学校を出ればいいんだ。</li> </ul> <p>○バスに乗車した時のあいさつができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭をさげ、「お願いします。」と言えればいいんだ。</li> <li>・〇〇先生が運転手さんだと思ってあいさつしてみよう。</li> <li>・いつも毎朝、職員室に入る時のように、頭をさげればいいんだ。</li> </ul> <p>○バスの降り方がわかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高根小学校から、農協前までは、120円だから、100円玉1個と、10円玉を2個出せばいい。</li> <li>・「ありがとうございます。」とお礼を言えればいいんだ。</li> </ul> <p>○「さざなみ」を買うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「さざなみ」は、これだ。</li> <li>・187円だから、200円出せばおつりがくる。だから、100円玉2つを出せばいい。</li> </ul> <p>○見事に買い物ができたとき、その時の写真をお母さんと一緒に撮ろう。そして、自分の名前も書き残そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の名前は……。ゆっくりていねいに書こう。</li> <li>・「買い物できたよ。お母さん。すごいでしょ。」</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学校の出発時刻がわかり、バスに乗る時間がわかったか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時計の絵を3枚示し、学校を出る時間の絵を選ばせる。適当でない場合、やり直す。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>運転手さんに向かって声を出してあいさつができたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のあいさつなどを想起させはげます。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>100円玉、10円玉を正しく操作できたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物と、降車の時の写真を使い、お金の数を数えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「さざなみ」を選択し、正しくお金を提示できたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店の店員さんを他の教師にやってもらい、正しく選び、お金を出した時、みんなでほめる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>自分の氏名を教師の手を借りることなく書けたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔で記念写真をとる。</li> </ul>